

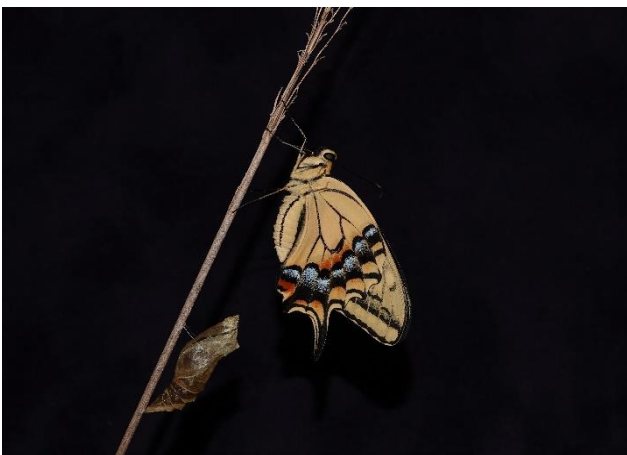
和名	分類	特徴ほか	会える場所			
			ハイム (中野島)	多摩川土手 (中野島周辺)	生田緑地	その他
キアゲハ	アゲハチョウ科	代表的なアゲハチョウ	○	○	○	全国



川崎市 9月6日 (2015年) キバナコスモスで吸蜜



川崎市 6月4日 (2019年) 羽化したて



川崎市 8月17日 (2023年 飼育) 羽化直後

成虫発生時期 (月)											
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
○ 食草	食樹	発生回数/年			越冬形態						
パセリ、ミツバほか		3~4			蛹 (さなぎ)						

ミカンやサンショウを丸坊主にしてしまうアゲハ (ナミアゲハ) と並んで最も代表的なアゲハチョウの一つです。ただ幼虫時代に食するのはアゲハのような木の葉でなくパセリやミツバといったセリ科の草です。アゲハの食樹のミカン類、サンショウなどは多摩川土手を離れるとあちこちにあるのに対しこの周辺でキアゲハの幼虫が何を食べているのかは謎めいていましたが、生田緑地ではセリに産卵している姿を確認しています。

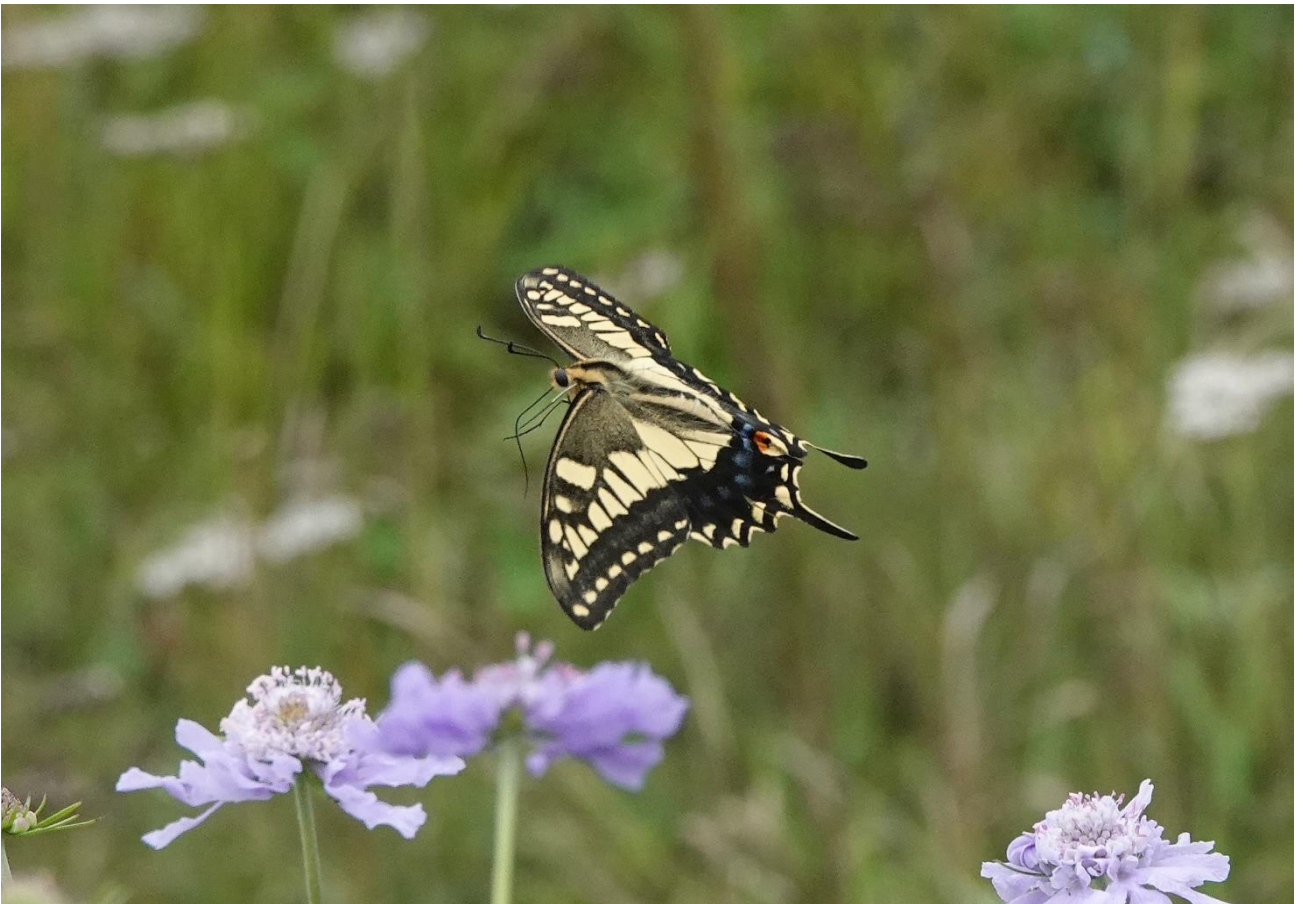
羽の模様や紋の配置・配色を目の当たりにする機会はまれですが、運良く羽化したてでじっとしている蝶に巡りあうと、その微妙なデザインに感動と驚きを覚えます。



川崎市 5月3日 (2020年) セリに産卵



川崎市 6月4日（2019年） 羽化して羽が伸びたばかりのキアゲハ



長野県諏訪郡 8月25日（2023年） マツムシソウに訪花